



ありがとうございます。続いて、2つ目の質問「結城での生活について」です。

塚原さんは学生時代を結城で過ごされましたが、そのころの「部活」としての野球の思い出、また現在は関西にお住まいですが、ご家族とともにたびたび結城へ帰ってこられるとのこと、現在の結城との関わりなどについて、お聞かせください。

塚原 中学1年生から本格的に野球をやり始めました。私が所属していた結城南中学校の野球部は、練習がとても厳しかったのを今でも覚えていますが、その時に勝つ喜びや負ける悔しさを学び、心身ともに成長できたと思います。

中学生時代の野球部の仲間とは今でも仲良くしていて、埼玉県にある西武ドームで試合のあるときは、いつも見に来てくれるんです。帰省するとアットホームな雰囲気迎えてくれるので、とても居心地が良いですね。

また、2年前から冬季の自主トレーニングを鹿窪運動公園の野球場で行っています。素晴らしい施設で環境も整っているんで、本当に助かっています。実家も近いですし、ストレスなく自主トレに集中できています。

そうですね。鹿窪運動公園では、野球教室も開催していただいているんですよ。

塚原 はい。その自主トレの期間に、子どもたちに野球教室をしています。ただ、自分のころに比べて野球をやる子どもたちの人数が減ってしまい、寂しい印象も受けますね。

関 自主トレは、どなたかと一緒にいらっしゃるんですか？

塚原 自主トレは基本一人です。投球は試合中一人の時間が多く、自分のやりたいことを自由にできるので、その方が合っています。

たまに、4歳年下の双子の弟に付き合ってもらうことも

ありますね。

市長 そうなんです。結城へはご家族と一緒に帰省されているんですか？

塚原 基本は家族も一緒です。娘がいますが、子どもがいると、寂しい印象も受けますね。娘が小・中学生になり、自分が野球をしている姿を覚えてもらって、野球を続けたいと思っています。

市長 遠征などで家を空けることが多いと思いますし、娘さんと離れて寂しさもあるでしょう。

塚原 そうですね。遠征やキャンプなどで約1カ月間、家を空



平成19年「第58回北関東中学校野球大会」では、結城南中の主将として選手宣誓

けることもあり。久々に娘に会うと、その成長に驚くことがあります。

市長 子どもたち一人ひとりの積極性も関係がありますか？

塚原 あると思います。オリックス・パファローズでも野球教室を開催しており、私も参加しています。関西の子は純粹に楽しんで野球をしているような気がします。

市長 それに比べると、結城の子どもは大人しいように感じます。もともと楽しんで練習できたらいと、伸びる子がたくさんいると思いますよ。

塚原 私も、人生の中で1度はつらいことを経験しておくべきだと思えます。今の自分があるのも、学生時代に厳しい練習を乗り越えられたことが大きいと思います。自分の中で大きな財産になり、貴重な時間を過ごせたと思っています。

関 そうですか。中学生時代の部活の中では、何が一番厳しかったのですか？

塚原 もう全部ですね。(笑)

投げる・打つはもちろんですが、走り込みもたくさんありました。なにより練習時間が朝の7時から夜の7時までと長かったので、それが大変だった記憶があります。



ありがとうございます。最後に、3つ目の質問「結城市のスポーツ教育について」です。

あとは、その当時の顧問の先生がとても厳しかったですね。今でも結城に帰省したときは会いますし、試合もときどき見に来てくれて、自分の活躍を本当に喜んでくれてます。

これも、その厳しい練習を乗り越えられたからですね。| 今後、行政がより一層スポーツを振興し、スポーツに取り組み市民を支援していく必要があります。

特に、子どもたちのスポーツ振興は、体力増進のほか、塚原さんのように結城から優れた競技者を生み出す意味でも、とても重要なことです。そのような、幼少期にやるべきことや自身が経験して良かったこと、また行政が支援すべきことなどについて、お聞かせください。

塚原 スポーツの基本は「走る」と「だ」と思うので、どのスポーツでも走ることに力を入れて欲しいと思います。あとは、もともとスポーツを楽しくて欲しいです。基本は楽しむこと。それがスポーツ



昨年5月に鹿窪運動公園で行われた野球教室の様子